

表1-1.
リハビリテーション実施件数の年次推移(件)

	H28年	H29年	H30年
理学療法	66,367	77,521	76,390
作業療法	28,467	30,652	29,487
言語聴覚療法	13,992	15,580	14,567

表1-2.
各科からのリハビリテーション依頼件数の年次推計(件)

診療科	H28年	H29年	H30年
整形外科	602	639	689
脳神経内科	709	608	597
救急診療科	571	649	697
消化器外科	487	546	493
心臓内科	405	441	541
心臓外科	239	232	261
脳外科	203	220	290
消化器内科	196	223	310
呼吸器内科	148	165	152
腎臓・高血圧内科	131	141	182
免疫リウマチ科	83	98	117
精神科	109	99	74
泌尿器科	96	101	52
耳鼻咽喉頭頸部外科	68	80	68
総合内科	76	81	83
口腔外科	27	30	39
糖尿病代謝内科	18	37	43
乳線外科	19	29	24
産婦人科	12	13	23
呼吸器外科	11	10	10
小児科	18	17	19
形成外科	21	14	10
血液腫瘍内科	12	19	37
皮膚科	9	7	9
合計	4270	4499	4820

表2-1.
回復期リハビリテーション病棟における治療効果
(H30年1月1日からH30年12月31日)
回復期リハビリテーション病棟(合計245名)

	例数	入院時 FIM	退院時 FIM	平均在院日数	FIM Gain	FIM Efficiency
脳血管障害他	97	77.5	101.6	73	24.1	0.33
骨・関節疾患	60	92.9	108.9	52	16.0	0.38
脊髄損傷	19	74.5	103.8	90	29.3	0.37
頭部外傷	22	87.1	113.5	69	26.4	0.42
その他	47	77.5	98.9	57	21.4	0.38
病棟全体	245	81.9	105.3	68.2	23.4	0.38

表2-2.
回復期リハビリテーション病棟における各診療科からの
リハビリテーション依頼件数(H30年1月1日～12月31日)

入院・転床元	例数	%
脳神経内科	61	24.9%
整形外科	56	22.9%
脳神経外科	33	13.5%
救急診療科	30	12.2%
他施設からの紹介	20	8.2%
心臓血管外科	13	5.3%
心臓内科	8	3.3%
免疫リウマチ科	7	2.9%
精神科	3	1.2%
呼吸器内科	3	1.2%
消化器内科	2	0.8%
消化器外科	2	0.8%
糖尿病内分泌内科	2	0.8%
総合内科	1	0.4%
泌尿器科	1	0.4%
腎臓・高血圧内科	1	0.4%
耳鼻咽喉・頭頸部外科	1	0.4%
乳腺外科	1	0.4%
形成外科	0	0.0%
血液・腫瘍内科	0	0.0%
歯科口腔外科	0	0.0%
院内外科	0	0.0%
自宅	0	0.0%

表2-3.
回復期リハビリテーション病棟からの転機
(H30年1月1日～12月31日)

退院先	例数	%
自宅	197	80.4%
医療施設	9	3.7%
センター内転科	7	2.9%
介健施設	11	4.5%
福祉施設	18	7.3%
死亡	1	0.4%
その他	2	0.8%

表3-1.
障がい者施設等一般病棟における治療効果
(H30年1月1日からH30年12月31日)

障害者施設等一般病棟(合計243名)

FIMに関する指数は、原疾患の増悪等がみられた5名を省き、238名で算出した。

	例数	入院時 FIM	退院時 FIM	平均在院日数	FIM Gain	FIM Efficiency
神経疾患※1	152	71.0	77.3	29.7	6.3	0.26
骨・関節疾患	14	98.6	113.4	59.4	14.8	0.28
脊髄損傷	43	48.7	58.2	9.6	0.1	92.84
頭部外傷	6	63.5	78.5	67.8	15.0	0.23
その他	28	78.5	89.6	32.7	11.1	0.46
病棟全体	243	72.1	83.4	39.8	9.5	18.8

表3-2.
障がい者施設等一般病棟における各診療科からの
リハビリテーション依頼件数(H30年1月1日～12月31日)

入院・転床元	例数	%
自宅※2	116	48%
脳神経内科	45	19%
他施設からの紹介	34	14%
救急診療科	21	9%
整形外科	6	2%
総合内科	3	1%
消化器内科	3	1%
精神科	3	1%
心臓血管外科	3	1%
消化器外科	3	1%
心臓内科	2	1%
耳鼻咽喉・頭頸部外科	2	1%
呼吸器内科	1	0%
脳外科	1	0%

表3-3.
障がい者施設等一般病棟からの転機
(H30年1月1日～12月31日)

退院先	例数	%
自宅	188	77.4%
医療施設	19	7.8%
福祉施設	18	7.4%
センター内転科	10	4.1%
介健施設	4	1.6%
死亡	4	1.6%

※1、脳炎後や神経難病等の病気、また重症の意識障害を含む

※2、主科が神経内科の症例を含む

FIM: 日常生活動作に必要な全般的能力で最低18点から最高126点

FIM gain: 退院時FIM-入院時FIM(リハビリテーションでよくなった生活能力の程度)

FIM efficiency: 退院時FIM-入院時FIM/入院日数(リハビリテーション効果の指標)